

## 平成30年度 総合現代社会(シラバス)

年計	単位数	2	学科	普通科	学年	第3学年 (文系選択Ⅱ)
学習到達目標	①民主主義の本質について理解を深めさせるとともに、様々な社会問題を理論的・体系的に理解する。 ②身近な地域学習を通して、現代社会の課題について総合的・客観的な観点から理解する。 ③学習の過程で生じた問題や課題を、「課題研究」の形で自らその解決策を模索することで、国際社会に参画する公民としての在り方生き方を身につける。					

評価の観点			
関心・意欲・態度	思考判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
自らの生まれ育った地域に対して関心を高めていくとともに、意欲的に課題を追究し、社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。	沖縄の現状を見聞することで、現代の諸課題に関する諸課題の本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。	沖縄の諸課題に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現していくことができる。	琉球・沖縄の歴史及び諸課題について基本的な事柄、本質や特質などを理論的・体系的に理解し、基本的な概念や理論を知識として身に付けている。

評価方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題や提出物（課題ファイル・レポート・小論文）を提出させて総合的に評価する。</li> <li>・ディベートやフィールドワークを通して、取り組み姿勢や内容を総合的に評価する。</li> </ul>

授業方法	月	単元内容
講義・作業	4月	オリエンテーション・小論文と作文の違い・小論文の書き方・時事的問題の考察の仕方・自己表現の技法・発表の仕方
作業学習	5月	小論文課題の練習・沖縄の米軍基地を通して民主主義の在り方や平和について考える
講義・巡検	6月	平和について考える（慰霊の日に向けての取り組み・フィールドワークの実施）
巡検・講義	7月	自己の将来と現代社会の展望を考慮し、自己適性及び自己実現に向かう自分の将来を模索（自分の過去・現在・未来と向きあう・興味を知る 将来の方向性を知る）、志望学科のテーマに即した意見を持つ）
講義・班活動	9月・10月	琉球・沖縄の歴史的考察・フィールドワークの実施・レポート作成
講義・班活動	11月	時事的な社会問題に関する小論文作成
講義	12月	沖縄県の抱える問題（過去・現在の沖縄の諸課題、未来の沖縄の展望を考える）
講義・班活動	1月・2月	地域的課題とその解決策について考える